

やさしい木の温もりと
清々しい空気に
包まれた家



ダイニングでのくつろぎのひとつ。素敵な食器棚は奥さまのお母さまから結婚祝いに頂いたもの。2人ともナラの無垢材の色合いが気に入り、この色のトーンに合わせインテリアを選びました。

「次女が小学生になることもあって、そろそろ自分たちの家を建てたいと思ったんです」と住まいづくりのきっかけを話すSさんご夫妻。とはいえ当時は具体的な計画はなく、「いつかは...」という軽い気持ちで展示場巡りをしていたそう。「当時住んでいた新築のアパートが新建材の匂いや、排水溝などの匂いが気になる部屋で、娘も咳き込むことが多かったんです」と奥さま。そのためか、りんくうタウンのモデルハウスに来場したとき、もみの木の家の空気の良さが印象に残ったとか。その後、「もみかフェ」に参加したことで、「ぐっ」ともみの木への思いが高まりました。「以前からムク材が好きでしたが、もみの木の太ファンになりました」とご主人。

「和室やリビング階段などの希望を出しましたが、提案してもらったアイデアが気に入っておまかせすること多かった」という住まいづくり。ご主人は現場にもよく足を運んでワクワクしながら完成を待ちました。

親子というよりは仲良しの友達家族のS様宅。二年ほど前にお引渡りさせて頂きました。少年のようなご主人と、とても無邪気で可愛い奥様とで、楽しくお打合せも出来ました。「モミカフェ」も何度かご参加いただき、講師の内藤社長ともすっかり顔見知りの、樫の木ファンのS様です。樫の木の経年変化もあって、引渡しの時より良い色合いになっていくはずですが、樫の木パウダー、明るく、そして、癒されながらの健康的な暮らしがずっと続きますね。

S様宅の近所に当社の社員も同じ時期に建築させて頂き、家の年齢が同じ年です。「S様のお家が出来るのを楽しみにしていました。可愛らしい外観にこだわりのある内観に仕上がりましたね。今後とも宜しくお願いします。」と佐藤も申しあげました。

佐藤共々これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

担当より一言



営業後藤



佐藤

2009年12月に入居。家族みんな夏はさらり心地よく、冬は暖かいもみの木の床に満足の様子です。「一番良かったと思うのは空気が清々しいこと」と奥さま。娘さんの咳もいつのまにかなくなっていたそうです。



リビングダイニングと一体になったオープンキッチンは、娘さんたちとの会話も弾みます。水回りの手元は立ちあがったカウンターで目隠し。



リビングから続き間になっている和室。吊り戸棚にして収納棚の下を空けることで部屋を広く見せる効果があります。



キッチンの棚はご主人の手作り。タイル貼りには苦労したそうですが、「手間が掛っても自分で作ると愛着がわきますね」とご主人。



展示場を見た時からずっと心に残っていたもみの木のテーブルを今年5月に購入。手触りの心地よいテーブルは自然と集まったみんなが笑顔に。リビングの天井は、一段高くして空間に変化を付けました。梁がインテリアのアクセントになっています。



CASE30:宮城県多賀城市 Sさんのお宅

家族構成:夫・妻 長女、次女
延べ床面積:約34坪 部屋:3LDK
こだわり設備:もみの木の床 スピンオフ壁



もうすぐ3年が経つもみの木の床。トーンが少し落ち着いて雰囲気ある表情が出て来ました。



玄関ホールにニッチ(飾り棚)やステンドグラスなどが施され、おしゃれな雰囲気。



2階の娘さん2人の部屋。大きくなったらそれぞれの部屋を持つよう真ん中で仕切れるようになっています。



次世代の住まい
CASE 30
宮城県多賀城市
Sさんの家
取材日/2012年9月



屋根や外壁と、色や雰囲気合わせたエントランスウォール。ガラス素材の表札がおしゃれなポイントに。